

1 高齢者の食と暮らしの調査概要

資料No6-3

(1) 調査目的 超高齢社会を迎え、市民が地域や家庭で健やかに幸せに暮らしていただけることは重要な課題である。健幸のためには、生活習慣を見直しながら、食事と運動などをうまく連携させた効果的な施策をたてていく必要があることから、高齢者の食を中心とした暮らしぶりについて調査を実施する。

(2) 対象及び方法 三条小学校区内（本町1～6丁目、八幡町、元町）在住の65歳～79歳

対象者内訳	人数	世帯	調査方法	調査員
単身高齢者	116	116	訪問	三条小学校区民生委員9人 福祉保健部職員20人
高齢者のみ世帯	177	104	訪問	
高齢者含む世帯※	70	50	郵送	
合計	363	270		



※高齢者含む世帯のうち2割を対象とする。

(3) 調査項目

ねらい	質問項目
基本属性	性別、年齢、職業、世帯構成、世帯員数
身体活動	身体機能、歩行時間、継続した軽運動、社会活動、外出の回数
健康状態	健診、疾患、体重変化
生活習慣	喫煙、睡眠、飲酒
食習慣及び食環境	食事回数・時間、朝食欠食、共食、食費、食品の摂取頻度、食生活への意識及び悩み、食事作り及び形態、食料品の購入場所等
QOL	生活の満足

(4) スケジュール

5月末	調査票完成、調査員説明
6～7月	調査開始、想定される事業の事前検討着手
7月中旬	調査票回収、確認
8月～	集計、分析 事業企画